

事業の背景・目的

・令和4年度より続けて実施している国内希少野生動植物種のアカモズ及び周辺環境の保全にかかる情報の収集と対策を目的に、モニタリング手法の検討、カメラマン等の対策、普及啓発に取り組む。本種においては、繁殖している場所の土地管理者が多岐に渡ることから、各管理者への情報共有、周知、普及啓発等を関係主体と連携して取り進める。3年間の調査を踏まえて、アカモズ保全計画「アカモズアクションプラン」を石狩市生物多様性地域戦略の行動計画として策定する。

事業の内容

①アカモズの生息モニタリング調査

引き続き本種の飛来状況や繁殖状況を調査する。3年間の調査実績をもとに、今後も継続可能なモニタリング手法を確立し、増減等の目安となる簡易的なデータ取得方法を検討する。

②アカモズ保全に係る アカモズアクションプランの策定

初年度から実施している生息環境や、繁殖状況の結果を踏まえ、石狩市の生物多様性地域戦略の個別計画として、2040年までにアカモズの生息環境を維持するための行動計画「アカモズアクションプラン」を策定する。策定にあたっては、有識者や関係者の意見を聞き、具体的な保全策について考案する。

③普及啓発の実施

アカモズ及びその他の草原性鳥類について市民に向けた普及啓発の場を設ける。札幌市等の近隣市町村ととも連携し、アカモズの生息している環境を含めた認知度や関心を高めることを目的に、円山動物園などの施設でセミナーやシンポジウムを開催する。

④土地管理者間の 情報共有

引き続き関係所管に対し、情報の周知や状況報告。合わせて現状の各事業について意見交換を実施する。



得られた成果

①アカモズの生息 モニタリング調査事業

昨年度の調査をもとに、過年度との比較ができるモニタリング手法を検討し、ArcGISに紐づくアプリを活用しデータの蓄積に努めた。



②アカモズ保全に係る アカモズアクションプランの策定

令和7年1月15日に1回目の会議を開催し、会議の意見を参考に原案をブラッシュアップした。2回目として令和7年3月3日に会議を開催し、有識者の意見を踏まえた上で、「アカモズアクションプラン（案）」を作成した。同プラン（案）は、4月1日よりパブリックコメント経て、令和7年6月以降に確定し、公表予定。

③普及啓発の実施

生息や繁殖への影響が危惧される行動が目立ったため、緊急性の高い場所に注意喚起看板の設置をした。石狩市民に向けた回覧、近隣施設でのポスター掲示、環境学習や出前講座でのアカモズ及び生息地の普及啓発を実施した。その他、本市の取組を紹介する「いしかり生き物座談会」でも報告をし、普及啓発を進めた。

④土地管理者間の情報共有

アクションプラン策定にあたり、管理者への情報提供及び、新たな保全再生事業の展開等を検討した。また、周辺の防風林を所管する林野庁や、土地所有者である財務省にも本市の取組について説明して、情報共有に努めた。